

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	1311052000049
施設名	BabyOne
施設所在地	東京都目黒区鷹番 1 - 1 5 - 3
法人名	株式会社 BabyOne

1. 活動のテーマ

<テーマ>

《土・根菜・食物》

<テーマの設定理由>

食事で好き嫌いだけでなく食事自体にあまり興味を示さないような姿が見られる子がいた。子どもたちが意欲的に食べる＝食・生命に関心が広がるような活動がクラスで出来ないかとクラス担任より発案があった。園にある子どもたち専用の庭で子どもたちが土に触れ、植物に水をあげたり、植物や食べ物を育てる中でどんなことを子どもたちが感じるのかを研究テーマとした。

2. 活動スケジュール

4月 二十日大根の植ええ
7月 二十日大根収穫
11月～ちゅりっぷの球根の植え付け
～3月 卒園までの間の水やり
12月～根菜を使って食材を切る

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

園庭環境見直し
水道工事
調理器具
エプロン・三角巾作成

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

日頃は砂遊びなどでしか土に触れることがない子どもたち。

土には苦手意識を持って触りたがらない子もいる。

園にある園児専用庭で植物を育て、食物の土台となる土に関心を持ち、触れ、植物が育つ過程を見ながら土から食へ、関心を広げていく活動を見守る。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

2歳児：土に触れると「つめたいね」「ふわふわしてる」「わたしのこれ？」と自分の球根に大切そうに土の布団をかけてあげる姿がある。それ以後は当番で水やりも行っていて、「おおきくなあれ」と声をかけて上げる姿もあった。根菜の調理では固い根菜に「かたい」「できない・・・あ、できた！」とコツをつかむとそこからは保育士の手を借りることなく力を加減しながら根菜を切る姿がある。たくさんきれると満足そうに「みてこんなにできたよ」と人参とじゃが芋がたくさんな板の中に集まって、それを鍋に入れる時も自分の切った具材は一つ残らず集めて「またやりたい！」と言っている。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

活動の中で手が汚れる経験を好まないお子さんもありましたが他の子が興味をもって参加する様子を見て土に手を伸ばして触れてみようとする姿がありました。ふわふわの土、水で湿った土、塊の土。どれも触ると形が変化する面白さに気付いた子どもたちは寒い日の活動でありましたがしばらくの間夢中で土遊びを楽しむ姿が見られました。

根菜調理ではcuttyという手が切れない包丁を使って根菜切りを経験しました。普段ならおしゃべりが大好きなクラスですが根菜を切る時は集中して無言で取り組んでいて真剣そのものです。

事前に扱いについては少しだけ担任から説明する時間がありましたが、楽しい活動だからこそよく聞いている姿がありこういった活動や経験が子どもたちのさらなる成長に繋がっていくのだということを感じ嬉しく思いました。